

JMRI の Panel Pro で DCC のポイントを制御してみる

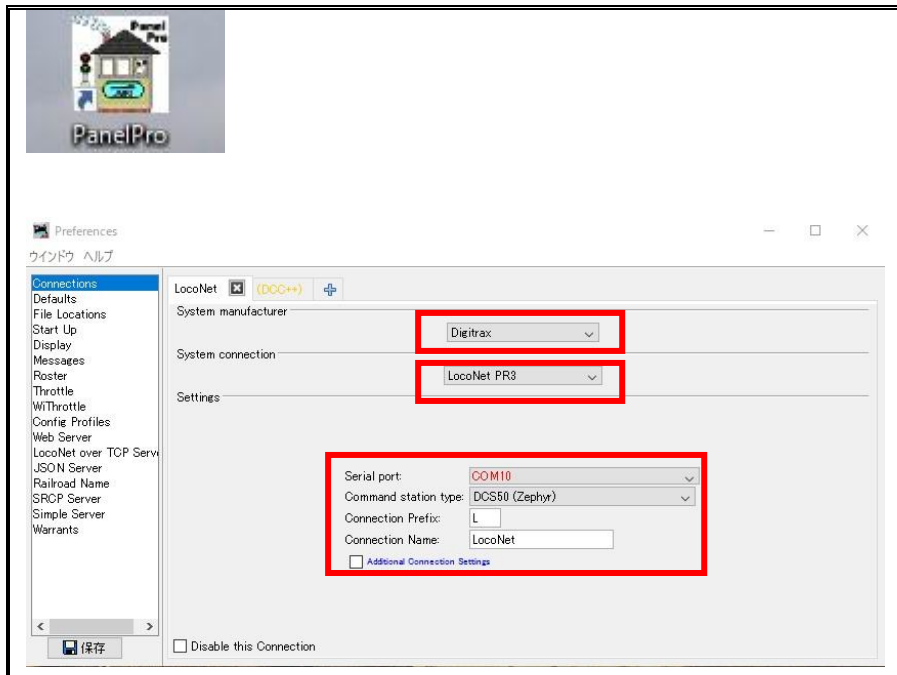
JMRI というオープンソースソフトウェアをダウンロードすると、Panel Pro という DCC のポイント制御できるソフトがあります。無料で入手でき以下のサイトからインストールします。

JAVA も必要なのでインストールしましょう。

- JAVA (https://www.java.com/ja/download/help/download_options.xml#windows)
- JMRI (<https://www.jmri.org/>)

ただし、DCC のコントローラ (KATO の D101 または D102) とパソコン以外にも、パソコンと接続するために Digitrax の PR3 か PR4 が必要になります。2019 年に発売された Digitrax 製の DCS52 は USB ポートがコントローラに内蔵されているため、PR3 か PR4 は不要になります。ただし入手手段が個人輸入に頼らなければならないため敷居が高いです。

	<p>機器構成はこのようになります。DCC コントローラと PR3 (PR4 でも可) とパソコンが必要です。ポイントデコーダは DCC の信号を変換してポイントの転換する制御をしています。図ではポイントデコーダは 2 個ですがさらに増設できます。</p> <p>DCC コントローラ単独でポイント転換することもできますが、パソコンからやった方がずっと操作しやすいです。</p>
	<p>今回の目標はこのように画面上で転換したいポイントをクリックして切り替えるところまでになります。</p> <p>本来はさらに多機能なソフトではありますが、私もまだ完全に使いこなしていません...</p> <p>分岐器の名称などはネットでかじった知識をもとにしたのでだいぶ適当です。分岐器の矢羽 (///) は定位の開通方向を示しています。</p>



JMRI と JAVA のインストールに成功すると Panel Pro のショートカットが作成されます。

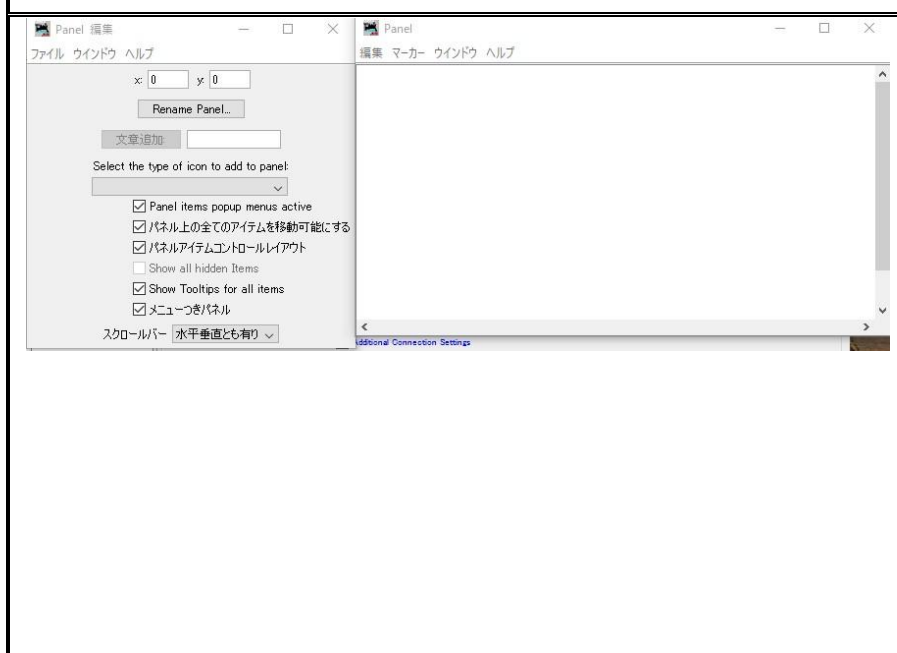
初回起動時には設定を求めてくるので、「System manufacture」で「Digitrax」を選択し、「System connection」で使用する機器を選びます。シリアルポートは実際に PR3 または PR4 が接続しているポートを選択します。

(例では PR3 と DCS50 すなわち D101 を使用しているので、スクリーンショットのような構成にしています)



「Panel Pro」を起動して、「パネル」タブから「新規パネル」を選択し、「パネル編集」をクリックします。

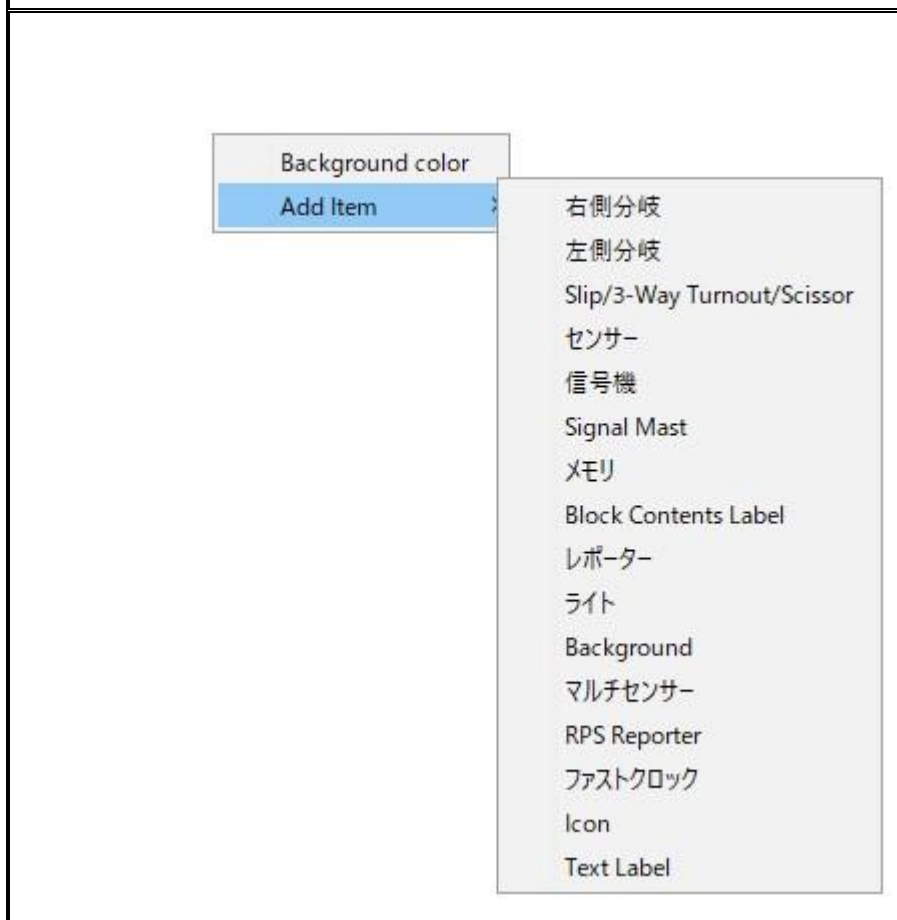
保存したデータを読み込むときはパネル読み込みを選択します、



「Panel 編集」ウインドウと「Panel」ウインドウが表示されますが、「Panel 編集」ウインドウは保存の時に使用します。アイコンを配置するのは、「Panel」ウインドウで行います。



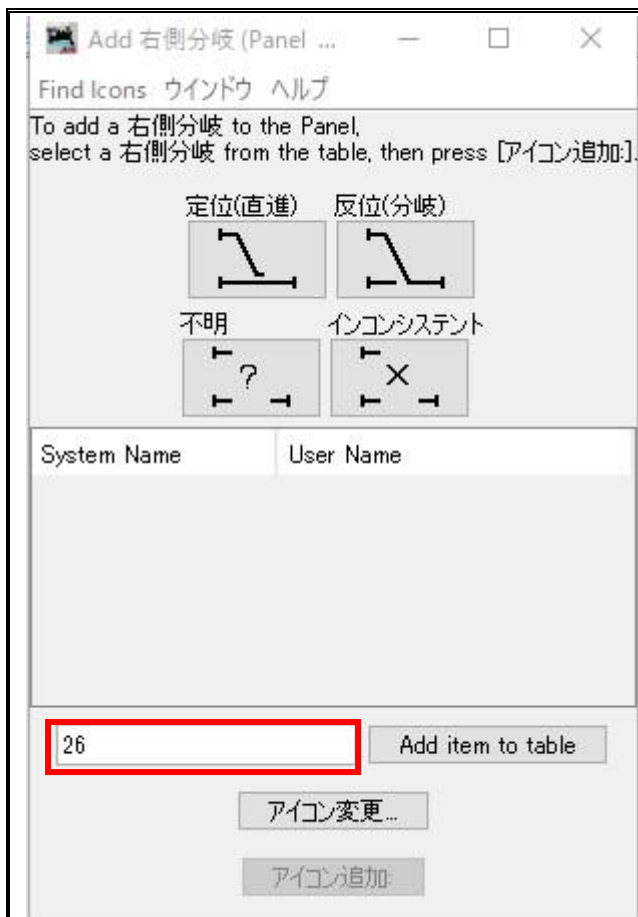
「Panel」ウインドウの余白に右クリックすると、「Background color」と「Add item」表示が出ます。「Background color」は背景の色を変えることができます。「Add item」で線路や分岐器のアイコンを追加できます。



分岐器を追加するときは、「右側分岐」、または「左側分岐」を選択します。片渡線または両渡線を配置するときは、アドレスをそろえれば実現できます。

線路の配線アイコンを配置するときは「Icon」から任意のアイコンを選択します。

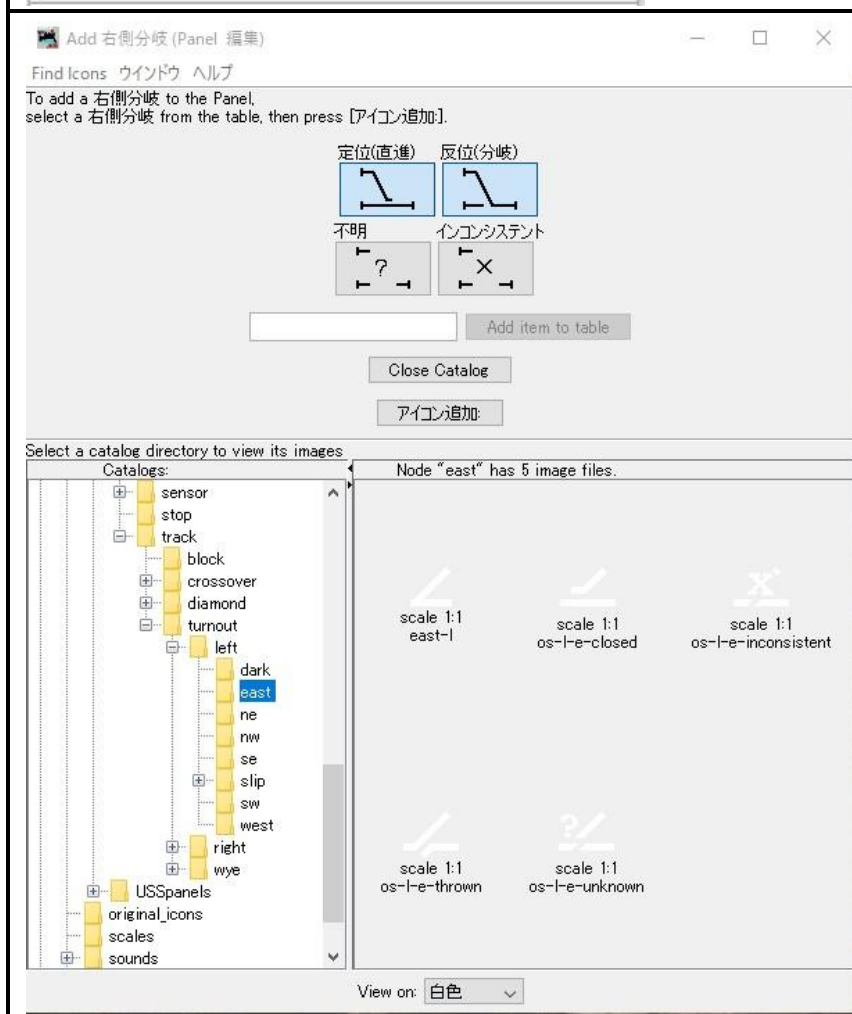
「Text Label」を追加することで、文字を表示することができます。ポイントのアドレスや線名、駅名を表示させるときに使用します。



例として、分岐器を配置します。操作したいポイントのアドレスを 26 と設定するのであれば、赤枠内に 26 と入力してその隣の「Add item to table」をクリックします。

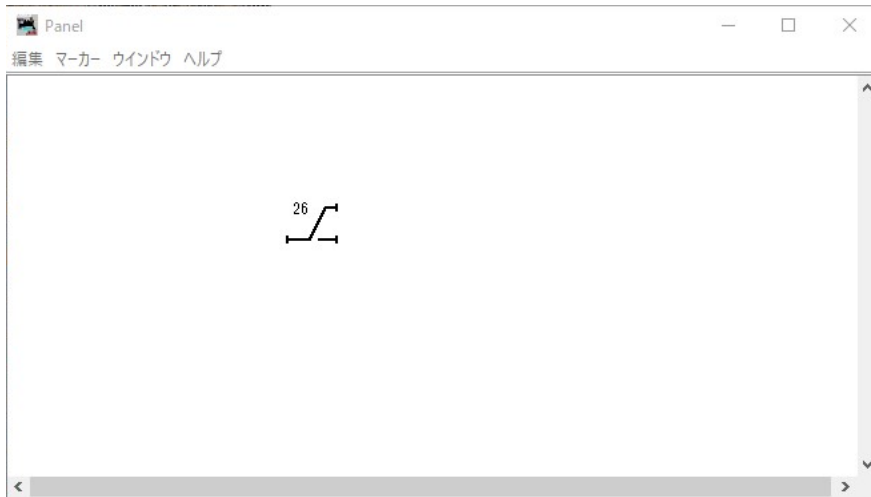
開通表示状態を示すアイコンを変更することもできますが、直進か分岐以外にも「不明」と「インCONSISTENT」も設定してあげます。

コマンドステーションやデコーダとパソコンが接続されても、初期値として開通方向は不明と出ます。そのときは、ポイント进行操作すれば正常に開通方向が表示されます。



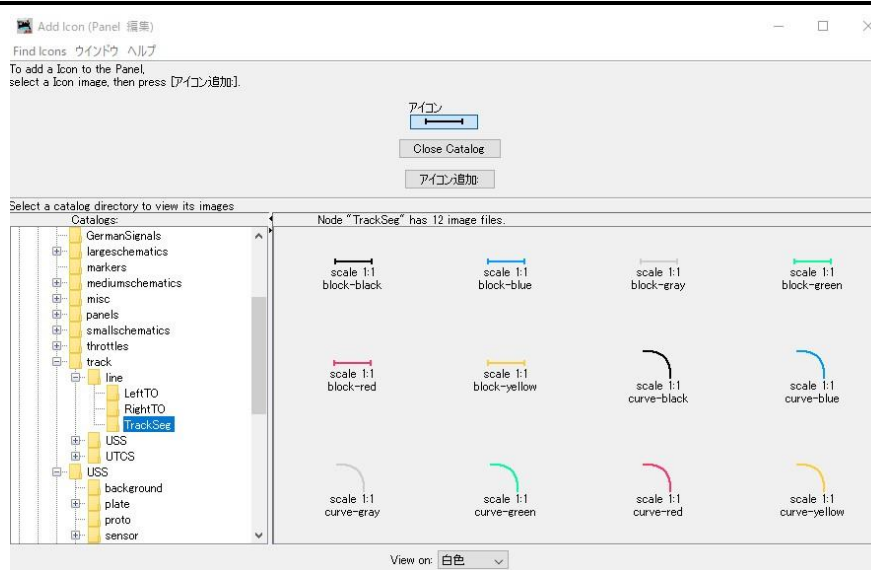
参考までにアイコンを変更するときはカテゴリから選んであげる必要があります。

選択肢が多いので探しにくいですが定位状態のアイコンを変更するときは定位(直進)のアイコンをクリックしてから右下のアイコン一覧から変更します。



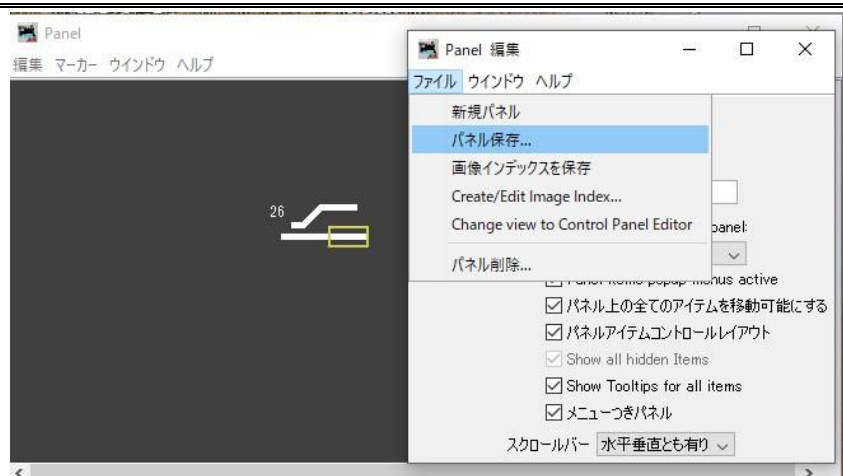
アイコンが配置されます。アイコンを右クリックしながらマウスを動かすと位置を動かします。

ポイントをクリックすると開通方向が変化します。



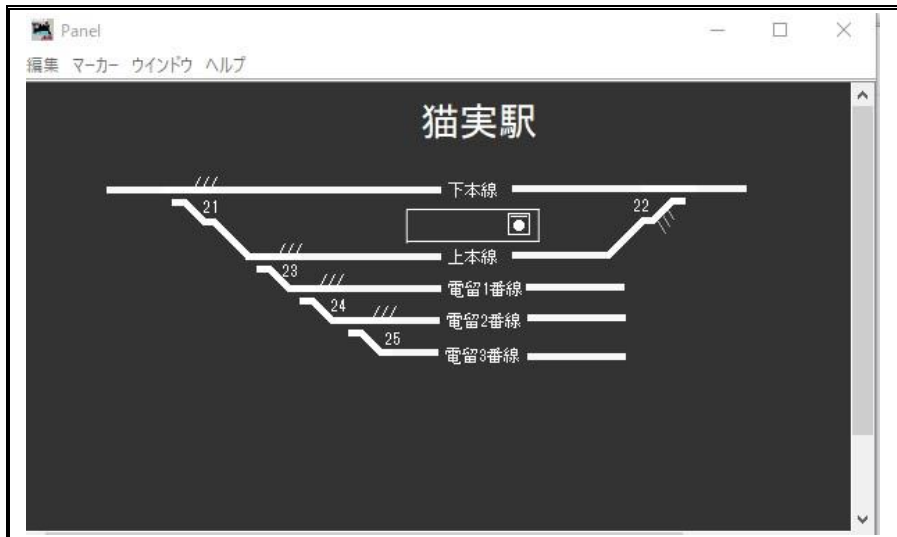
ポイントが配置できたので次は直線線路を配置します。3 ページ目に記載したやり方で「Icon」を追加できます。

アイコンの種類が非常に豊富なのでまずは一通り確認することをお勧めします。アイコン追加で「Panel」にアイコンを追加します。こちらも右クリックしながらマウスを動かすことで位置調整できます。



背景色やアイコンを変えると印象が変わります。

保存するときは「Panel 編集」から「ファイル」タブを選択し、「パネルを保存」をクリックして任意の名前で保存します。



以上の知識を使うだけでもこのようなパネルができます。パソコンを立ち上げる必要がありますが、最近は SSD を搭載しているものが多いので早く立ち上がる上に、操作性は良好です。配線変更があっても、柔軟に対応できるのが強みと言えます。